

美濃市教育委員会点検評価結果

(点検評価対象年度: 令和2年度)

評価基準(達成度評価)

- A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている
- B 一応の成果が上がっている
- C 成果が十分上がっておらず、改善の余地が多い
- D 成果が殆んど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

1. 教育委員会の活動状況

点検項目	ア 教育委員会会議の実施状況	評価	A
実績	<p>(1)開催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定例会 11回(毎月開催) ○臨時会 1回(3月開催) <p>(2)審議件数(R2.4~R3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○議決 23件 <ul style="list-style-type: none"> ・美濃市いじめの防止等のための基本的な方針(案)について ・美濃市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱の制定について ・岐阜県教科用図書(美濃地区)の採択について ・財産の取得について(小中学校情報機器端末3件、学校給食センター用地)他16件 ○承認 7件 <ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の承認について 教育に関する事務に係る議案に対する意見について(令和2年度美濃市一般会計補正予算(第1号)について(教育関係)) ・専決処分の承認について 美濃市スポーツ審議会委員の委嘱について 他5件 ○報告 27件 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について ・美濃市立中学校運動部活動指針について ・土幌町フレンドシップ交流事業について 他24件 <p>(3)美濃市総合教育会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5回開催 ○議題(テーマ) <ul style="list-style-type: none"> ・学校再開に向けての方向性 ・小中学校の再開と新型コロナウイルス感染防止対策について ・社会教育施設の開放と新型コロナウイルス感染防止対策について ・第2期教育大綱の策定について 		
担当課	教育総務課		

点検項目	イ 研修・調査等の活動状況	評価	B
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○大会、会議、研修会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・美濃地区教育推進協議会研修会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面議決となりました。 ・岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。 ・市町村教育委員会連合会定期総会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面議決となりました。 ・教育委員研修視察 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。 		
担当課	教育総務課		

2. 事務事業の執行状況

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	1 学力向上少人数指導事業	評価	A
事務事業の目標	少人数指導非常勤講師を配置し、個に応じた指導を行い、基礎的基本的な学習内容を確実に身に付けさせるとともに、思考力、判断力、表現力などの育成を図ります。		
実績(事業の内容)	<p>1 少人数指導非常勤講師配置事業</p> <p>(1)小学校への配置…7名</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数少人数指導…算数の時間に、複数の教員で授業を行ったり、1学級を2から3に分けて少人数にししたりするなど、学習の習熟度に応じた指導をしました。 <p>(2)中学校への配置…4名</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校の実情に応じて、免許教科外教科担任解消や少人数指導、サブティーチャーとして教科担任の授業をサポートするなどして、生徒の学力向上に努めました。 <p>配置した教科…体育、音楽、英語及び特別支援学級への指導</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	2 指導力向上推進事業	評価	B
事務事業の目標	児童生徒が互いに学び合い、自分の考えを深め確かな学力が身に付くようにするために、教師の授業力向上を図ります。		
実績(事業の内容)	<p>1 学力向上ブラッシュアップ事業</p> <p>中有知小がICT活用について研究実践に取り組み、学校ICT活用プロジェクト会議などを通して、市内の学校へ広めました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公表会を令和3年度へ延期しました。</p> <p>2 美濃市教育委員会訪問指導</p> <p>各校を訪問し、学校の取組について聞き取りを行い、授業参観を実施しました。各校の実践を把握するとともに指導を行いました。</p> <p>3 学力学習状況調査の結果の活用</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文部科学省による実施が中止となりました。学校ごとに調査問題を活用し、学年や学校の傾向、個々の児童生徒の状況を把握及び分析し、長所の伸長や弱点の克服等の指導に活用しました。</p> <p>4 美濃市教育情報化推進計画の実施</p> <p>GIGAスクール構想による1人1台タブレット端末の導入に伴い、ICT機器を活用した教職員の授業力向上のために研修を実施し、全小中学校で活用を始めました。</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	3 教育研究所事業	評価	B
事務事業の目標	「確かな学力の定着と向上」「豊かな人間性の育成」を目指して、教職員の指導力の向上を図ります。		
実績(事業の内容)	<p>1 教育研究所主催による研修事業</p> <p>(1) 研修講座の開催 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8講座を中止とし、2講座のみ開催しました。 【開催した講座】 ○道徳指導 「特別の教科道徳の指導」(16名参加) ○教科指導 「図画工作・美術の指導」(10名参加) 【中止した講座】 ○ICT教育 「プログラミング教育」 ○特別支援 「発達障がい理解と支援」 ○教育相談 「発達段階を踏まえた教育相談」 ○学級経営 「『ほめ達』に学ぶ」 ○学級経営 「Q-Uの分析と活用方」 ○美濃学 「曾代用水」 ○総合的な学習 「森で楽しく学ぼう」 ○木育 「木に親しもう」</p> <p>(2) 中堅教員による教育課題研修会(年2回、7名) (3) 教育実践記録の募集及び審査(3名の応募) (4) 月1回発行する「所報」による情報発信・啓発</p> <p>2 研究所所長、訪問指導 ・先行実施している外国語科授業の進捗状況の指導と助言</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	4 ほほえみ教室推進事業	評価	A
事務事業の目標	不登校及びその傾向にある児童生徒の居場所となるよう、適切な支援をし、心の安定や自立を目指します。		
実績(事業の内容)	<p>1 ほほえみ教室(適応指導教室)に通室した児童生徒への適応指導 ・通室してくる児童生徒の居場所として心の安定を図るとともに、他の環境にも適応できるよう支援しました。 ・通室人数 6人、来室日数 175日</p> <p>2 不登校及びその傾向にある児童生徒の教育相談 ・学校や家庭を訪問し、別室登校をしている児童生徒や不安感のある児童生徒への支援と見守りに努めました。</p> <p>3 教育相談機能の充実 ・児童生徒や保護者と、面談や電話による相談を行いました。 ・相談件数 101件</p> <p>4 心の相談員との連携及び指導 ・学校に配置している心の相談員の研修を実施し、各校での支援の充実に努めました。 ・配置人数 小学校 1人、中学校 2人</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	5 学校生活支援事業	評価	B
事務事業の目標	一人一人の児童生徒が充実した学校生活を送れるように、その子に応じた適切な支援をし、心の安定や自立を目指します。		
実績(事業の内容)	<p>1 特別支援員の配置 特別支援員を配置することにより、学習や仲間との関係づくりなど、学校生活に困り感を感じている児童生徒の支援を行いました。 ・配置人数 小学校…10人 中学校…3名</p> <p>2 心の相談員の配置 各中学校に1名ずつ、小学校に1名を配置し、悩みや不安を抱える児童生徒の相談を行いました。相談員は、児童生徒の相談を真摯に受け止めるとともに、担任や校長等と連携し、児童生徒の不安や悩みの解消に努めました。 ・配置人数 小学校…1人 中学校…2名</p> <p>3 「Q-Uアンケート調査」の実施 調査結果を分析し、児童の理解と学級集団の把握に努めました。 ・Q-Uアンケート調査とは、児童生徒一人一人の学校生活における満足度と意欲、学級集団の状態を把握する調査です。 ・5月末まで臨時休校でしたので、年に2回実施するところを1回に変更しました。</p> <p>4 関係機関との連携協力 子ども家庭支援センター「とも」や大学等との連携を図り、より専門的な見地からの助言や協力を得ました。</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	6 特別支援教育推進事業	評価	B
事務事業の目標	障がいのある児童生徒に対してより適切な支援を行い、個々の教育的ニーズに応じて生活や学習の力を身に付けられるようにします。		
実績(事業の内容)	<p>1 特別支援連携協議会 (1)特別支援連携協議会(2回) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第1回を書面開催としました。 ・病院、特別支援学校、子ども相談センター、療育機関と連携し、情報を共有するとともに助言をいただきました。 ・就学相談、知能発達検査を実施しました。 (2)関係機関との連携協力(相談件数21件) ・子ども家庭支援センター「とも」や大学等との連携を図り、より専門的な見地からの助言や協力を得ました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、就労啓発部会を中止しました。</p> <p>2 教育支援委員会の開催 (1)就学助言部会(3回) ・支援の在り方や望ましい就学先について詳しく検討しました。 <メンバー> 指導助言者(特別支援学校2名)、ひばり園指導員、担当校長、主幹教諭、各校特別支援コーディネーター (2)教育支援委員会(3回) ・適切な就学先及び支援の在り方について助言をしました。 <メンバー> 医師(小児科医) 大学准教授 福祉子ども課 ひばり園 各校長 主幹教諭 特別支援教育コーディネーターの代表 (3)研修部会(中止) ・特別支援教育コーディネーターを対象として実践研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各自が研修したことを書面にて交流しました。</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	7 学校人権教育推進事業	評価	B
事務事業の目標	同和問題やその他の人権問題に対して正しい知識や理解、自分や他人の人権を尊重する態度を身に付けるようにします。 一人一人の児童生徒にいじめをしない、許さない態度を育て、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めます。		
実績(事業の内容)	<p>1 学校人権教育推進研究会による啓発事業</p> <p>(1)人権感覚の育成と人権に関する知的理解に重点をおいた人権教育の取組</p> <p>(2)同和問題学習(平成28年度作成)を活用した授業実践</p> <p>(3)「私のメッセージ展」の出展参加</p> <p>(4)実践記録集の作成</p> <p>(5)人権講演会、人権講座の開催・参加</p> <p>2 幼保小中高人権教育連絡会</p> <p>・牧谷小にて予定した授業公開は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。</p> <p>3 いじめの未然防止、早期発見・早期対応の取組</p> <p>(1)あたたかい学級づくりと自己有用感の醸成</p> <p>(2)情報収集</p> <p>(3)相談活動の充実</p> <p>(4)教職員の組織的な対応の強化</p> <p>(5)市連合PTAと連携したゲームの約束づくり</p> <p>(6)その他関係諸機関との連携</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	8 ふるさと教育推進事業	評価	A
事務事業の目標	ふるさとの伝統文化を知り、誇りと愛着をもつとともに、地域社会の一員として未来の美濃市を担う国際感覚豊かな児童生徒を育てます。		
実績(事業の内容)	<p>1 和紙教育推進事業</p> <p>(1)小学校4年生の紙漉体験</p> <p>(2)小学校6年生、中学校3年生の卒業証書用和紙漉き</p> <p>・卒業式では、自分で漉いた和紙の卒業証書を受け取ります。</p> <p>(3)牧谷小学校における「和紙の里学校」としての和紙教育</p> <p>2 子どもいきいき学校づくり事業</p> <p>(1)地域人材や特色を生かした教育活動</p> <p>(2)子供たちの感性を高める創造教育活動</p> <p>3 士幌町フレンドシップ交流事業</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止としました。</p> <p>・次年度の交流方法について、児童と保護者へのアンケートを実施し、保護者代表との懇談会を実施しました。</p>		
担当課	学校教育課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実																										
事業名	9 学校図書館教育推進事業	評価	A																								
事務事業の目標	図書館における「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能を活用し、豊かな人間性の向上を図ります。																										
実績(事業の内容)	<p>1. 学校図書館司書職員の配置 各小中学校に学校図書館司書職員を配置し、学校の図書館機能の充実に努めました。</p> <p>2. 図書館機能の充実 司書と図書主任、学級担任や教科担任が連携し下記の機能の充実を図りました。 (1)読書センターとして…児童生徒が本を読みたくなるような環境を整えました。 (2)学習センターとして…学習に必要な本を整え、児童生徒が授業で活用できるように工夫しました。 (3)情報センターとして…児童生徒が作った新聞や冊子等の作品を管理しました。先輩の残した記録や取り組みなども閲覧できるようにしました。</p> <p>3. 読み聞かせの指導 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしつつ、各校の実情に応じて、保護者や地域によるボランティアや教職員が、朝の会等の時間に読み聞かせを行い、本に親しむ活動をしました。 (1)各校の蔵書数と1人当たりの貸出冊数</p> <table border="1"> <tr> <td>・美濃小学校</td> <td>13,290冊</td> <td>平均 86冊</td> </tr> <tr> <td>・牧谷小学校</td> <td>8,547冊</td> <td>平均 90冊</td> </tr> <tr> <td>・大矢田小学校</td> <td>7,829冊</td> <td>平均197冊</td> </tr> <tr> <td>・藍見小学校</td> <td>8,592冊</td> <td>平均168冊</td> </tr> <tr> <td>・中有知小学校</td> <td>9,694冊</td> <td>平均116冊</td> </tr> <tr> <td>・美濃中学校</td> <td>18,061冊</td> <td>平均 22冊</td> </tr> <tr> <td>・昭和中学校</td> <td>9,679冊</td> <td>平均 38冊</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市内平均102.4冊</td> </tr> </table>			・美濃小学校	13,290冊	平均 86冊	・牧谷小学校	8,547冊	平均 90冊	・大矢田小学校	7,829冊	平均197冊	・藍見小学校	8,592冊	平均168冊	・中有知小学校	9,694冊	平均116冊	・美濃中学校	18,061冊	平均 22冊	・昭和中学校	9,679冊	平均 38冊	市内平均102.4冊		
・美濃小学校	13,290冊	平均 86冊																									
・牧谷小学校	8,547冊	平均 90冊																									
・大矢田小学校	7,829冊	平均197冊																									
・藍見小学校	8,592冊	平均168冊																									
・中有知小学校	9,694冊	平均116冊																									
・美濃中学校	18,061冊	平均 22冊																									
・昭和中学校	9,679冊	平均 38冊																									
市内平均102.4冊																											
担当課	学校教育課																										

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	10 遠距離通学支援事業	評価	A
事務事業の目標	遠距離通学による児童生徒の通学条件の緩和を図るとともに、通学時の安全を確保し、義務教育の円滑化を図ります。		
実績(事業の内容)	<p>(1)スクールバスの運行 ○遠距離通学児童・生徒のためスクールバス13台の適正な運行管理を実施しました。 美濃小学校スクールバス4台 (マイクロバス型) 牧谷小学校スクールバス4台 (マイクロバス型) 大矢田小学校(半道地区)1台 (ワゴン車型) 美濃中学校スクールバス4台 (マイクロバス型) ○除菌・防汚・消臭等に効果的な光触媒コーティングを全車両に実施しました。 ○光触媒コーティング以外にも運転手による日常的に児童生徒が触れる箇所の消毒を実施しました。</p> <p>(2)通学費の助成 ○令和2年度は、美濃中学校区の洲原地区の長良川鉄道を利用している生徒17名に対して定期券代等の全額1,497千円を助成しました。 現在、遠距離通学に対して通学費を助成する生徒は、洲原地区の美濃中学生のみです。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、令和2年5月から6月は全学校が休業となり、スクールバス運行距離及び遠距離通学費助成額は減少しました。</p>		
担当課	教育総務課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実										
事業名	11 ICT教育環境整備事業	評価	A								
事務事業の目標	小中学校にコンピュータ等の情報通信機器及び環境を整備し、各教科の授業で活用し、ICT社会に対応した教育を進めます。										
実績(事業の内容)	<p>○GIGAスクール構想(Society5.0時代に対応可能な人材育成)の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育を推進するために児童生徒1人1台のタブレット端末(iPad端末)の導入、併せて教師が児童生徒を指導するために同一端末を導入しました。 小学校児童用927台 中学校生徒用483台(予備8台) 合計1,418台 小学校教師用 69台 中学校教師用 39台 合計 108台 ・同時にPC端末が使用できるよう校内LANの改修を実施し、高速大容量通信ネットワークを整備しました。 工事関係費用 小学校 48,367千円 中学校 26,059千円 ・PC端末を活用できるようAppleTVや特別教室等に大型ディスプレイを整備しました。 AppleTV 小学校 78台 中学校34台 合計112台 大型ディスプレイ 小学校10台 中学校 9台 合計 19台 ・インターネット環境が無い家庭においてPC端末を活用できるよう貸出用モバイルWi-Fiルーターを110台導入しました。 <p>○校務の効率化を図るため、県統合型校務支援システムを導入しました。 年間システム使用料 1,348千円</p> <p>○情報通信機器(端末、サーバ等)を運用し、また、維持管理を行いました。 令和2年度決算額</p> <table border="0"> <tr> <td>修繕料</td> <td>1,517千円(PC端末等の修繕料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>10,147千円(PC端末、サーバ等の保守料)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>43,731千円(PC端末、サーバ等のリース料)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55,395千円</td> </tr> </table> <p>○児童生徒用及び教職員用のPC端末 517台(iPad端末等を除く)の維持管理を行いました。</p>			修繕料	1,517千円(PC端末等の修繕料)	委託料	10,147千円(PC端末、サーバ等の保守料)	使用料及び賃借料	43,731千円(PC端末、サーバ等のリース料)	合計	55,395千円
修繕料	1,517千円(PC端末等の修繕料)										
委託料	10,147千円(PC端末、サーバ等の保守料)										
使用料及び賃借料	43,731千円(PC端末、サーバ等のリース料)										
合計	55,395千円										
担当課	教育総務課										

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	12 教材等備品整備事業	評価	B
事務事業の目標	小中学校の授業等に必要な備品(ICT関係を除く。)の充実を図り、学力の向上を目指します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)教材備品 5,174千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業に必要な教材を各学校の要望等に応じて購入しました。 主な備品:ガステーブル、ライン入りエコマット、U型磁石、トレーニングチェア、両刃のこぎり、ボールセット、CDラジカセ等 ○理科及び算数(数学)の教育振興を図るため、国庫補助金を活用して理科及び算数(数学)に用いる備品を購入しました。 主な備品:流水の働き実験器、教授用いちご皿セット、電気の利用実験器、カラー百玉そろばん、環境メーター、電動回転体説明器等 <p>(2)一般備品 1,633千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営に必要な備品を各学校の要望等に応じて購入しました。 主な備品:給食配膳台、ワンタッチアルミテント、丸椅子、シュレッダー、閲覧椅子、給食用リフト運搬車、全自動洗濯機等 ○小中7校の職員室に留守番機能付電話を購入しました。 ○防火対策として、期限を迎える消火器を購入しました。 <p>(3)その他 2,459千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症感染防止対策として小中7校の教室に加湿器を購入しました。(小学校56台 中学校32台 合計88台) 		
担当課	教育総務課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	13 学校施設管理事業	評価	B
事務事業の目標	児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる環境を保つため、学校施設の維持管理を実施します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)小中学校感染症対策事業(60,194千円) ○新型コロナウイルス感染症対策として、施設及び設備の改修等を実施しました。 <主な実施内容> ・体育館内ステージ幕及び暗幕修繕 ・教室等抗菌・抗ウイルスコーティング処理業務委託 ・換気扇等改修工事 等</p> <p>(2)その他の改修等事業(14,523千円) ○経過年数や実態及び危険性や緊急性を考慮し、施設及び設備の改修等を実施しました。 <主な改修等> ・中有知小学校遊具設置工事 ・藍見小学校放送設備改修工事 ・小中学校配膳室空調機器設置工事</p> <p>(3)諸設備の維持管理(55,242千円) ○諸設備の保守点検を実施しました。 <主な保守点検> ・遊具及び体育用具保守点検 ・給食用エレベータ保守点検 ・消防設備及び非常通報装置保守点検 等</p>		
担当課	教育総務課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	14 修学支援事業	評価	B
事務事業の目標	経済的理由により高等学校及び大学等への修学が困難な生徒・学生に対して奨学金を給付し、学ぶ意欲がある生徒を支援します。		
実績(事業の内容)	<p>○学資の支弁に困窮している大学生及び高校生の学費を支援するため、返還義務の無い奨学金を支給します。 大学等 月額10,000円(年額120,000円) 高校等 月額 7,000円(年額 84,000円)</p> <p><令和2年度実績> 大学等 3名(総支給額360,000円)</p> <p>○原資となる奨学基金の状況 令和元年度現在高 32,055千円 令和2年度中増減高 △150千円 令和2年度末現在高 31,905千円</p>		
担当課	教育総務課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	15 就学支援事業	評価	A
事務事業の目標	経済的理由等により就学が困難な児童生徒の就学を支援します。特別支援教育を必要とする児童生徒の保護者に経済的な支援を行い、特別支援教育の奨励を図ります。		
実績(事業の内容)	<p>(1) 要保護・準要保護児童生徒就学援助費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、就学に必要な費用を支給しました。 ○支給費目:学用品費・通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費 ○令和3年3月現在の実績 <ul style="list-style-type: none"> 認定児童数86名(総支給額4,463千円) 認定生徒数47名(総支給額4,197千円) ○周知方法 <ul style="list-style-type: none"> 入学説明会にて保護者へ案内、市ホームページ・広報への掲載 <p>(2) 特別支援教育就学奨励費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級への就学を奨励するために特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、所得要件に応じて就学に必要な費用を支給しました。 ○支給費目:学用品費・通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、学校給食費 ○令和3年3月現在の実績 <ul style="list-style-type: none"> 認定児童数21名(総支給額457千円) 認定生徒数 9名(総支給額238千円) ○周知方法 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級の児童生徒の保護者への案内通知、市ホームページへの掲載 		
担当課	教育総務課		

教育大綱 基本施策	① 学校教育の充実		
事業名	16 学校給食事業	評価	A
事務事業の目標	安全で安心な栄養バランスのとれた、おいしい学校給食を安定提供します。		
実績(事業の内容)	<p>(1) 給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食実施日数 172日(令和2年度末給食提供人員1,616人) ・年間調理数 275,104食(試食会及びバイキング給食は未実施) ・主食の実績 ごはん100日、パン42日、麺類28日、その他2日 米飯給食実施率は約58.1% ・県内産野菜の使用量は、8,885kg(約29.4%) <p>(2) 施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸設備の保守点検(排水処理施設、ボイラー、自家用電気工作物等) ・調理機器等の更新(食缶器具消毒保管庫等) ・施設設備の修繕(給水配管修繕、ボイラー電磁弁修繕、蒸気漏れ修繕等) <p>(3) 食育等の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立の学校放送資料や献立表の保護者への配布により、栄養バランスや食の大切さを伝えました。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、①下痢や腹痛など通常健康チェックに加え、検温や風邪の症状などの健康チェックを休日を含め毎日実施し、②保護者の経済的負担の軽減として3ヶ月分の給食費 総額21,331千円を市が負担しました。 ・子育て支援を目的に多子世帯への学校給食費補助事業を実施し、児童生徒440名の給食費の半額又は全額を保護者378名に総額7,848,884円を補助しました。 ・食物アレルギーを持つ未就学児の保護者に対し、学校給食での対応について説明と懇談を実施しました。 		
担当課	教育総務課		

教育大綱 基本施策	② 家庭・地域の教育力の充実		
事業名	17 青少年健全育成推進事業	評価	B
事務事業の目標	学校・家庭・地域が連携して、青少年を取り巻く課題等に取り組むほか、関係団体の連携強化、青少年団体の活動の充実などを進めます。		
実績(事業の内容)	<p>(1)美濃市青少年育成市民会議による活動 市民会議は、市長をトップとする青少年関係団体等による組織で構成された団体で、青少年に関する問題や啓発等の活動を一体的に行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年推進委員会等の開催(年6回) ・わたしの主張美濃市大会(1/31開催・約100名参加) ・街頭補導 ・啓発活動(チラシ配布) など <p>※例年開催している「青少年健全育成を考えるつどい」及び「市民のつどい2020」は新型コロナ感染拡大防止の観点から中止。</p> <p>(2)ジュニアリーダーを子ども会行事や地域行事等へ派遣しました。 美濃市ジュニアリーダーズクラブ(中学生2名、高校生5名) 【派遣内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしの主張美濃市大会(司会等) <p>※新型コロナ感染拡大防止の観点からイベントや大会が中止となったことから例年と比べ派遣回数が増減しました。</p>		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	② 家庭・地域の教育力の充実		
事業名	18 家庭教育推進事業	評価	A
事務事業の目標	発達段階に応じた乳幼児学級や家庭教育学級を開設し、保護者の子育てに関する悩みや不安を解消するなど、保護者の学びの場を提供します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)乳幼児をもつ保護者を対象とした乳幼児家庭教育学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催テーマ みんなで楽しく学ぼう! 育児と育自 ・開催回数 年1回 ・参加者 延べ親子2組 ・学習内容 木育活動 <p>※新型コロナ感染拡大防止の観点から開催回数が例年より減少。</p> <p>(2)市内の幼稚園、小中学校で家庭教育学級を開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園1園、小学校5校、中学校2校 事業委託料30千円/園・校 ・主な内容 講演会、親子奉仕活動、読み聞かせ講座、アンケート調査ほか <p>※開設にあたっては、岐阜県家庭教育学級運営マニュアルに基づき、体系的かつ計画的に開催しました。</p>		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	② 家庭・地域の教育力の充実		
事業名	19 人権教育推進事業	評価	A
事務事業の目標	美濃市人権教育・啓発の指針に基づき、市民一人ひとりが人権の大切さを学ぶことができる機会を設けます。		
実績(事業の内容)	<p>(1)人権問題市民啓発講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和2年8月26日(水) ・講師 佐藤一男氏(避難所運営アドバイザー、防災士) ・演題 非常時に命とプライドを守る ・参加者 180名 <p>(2)人権啓発講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和2年12月8日(火) ・講師 根本一徹氏(自殺防止相談活動団体、一徹.Net代表) ・演題 人を救えるのか ・参加者 72名 <p>(3)人権啓発地区別ミニ講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 藍見地区:令和2年9月17日(木) 美濃地区:令和2年9月23日(水) ・講師 吉田圭三氏(岐阜市人権啓発専門委員) ・演題 身のまわりから考える人権意識～お互いに思いやっているとほ～ ・開催地区・参加者 藍見地区14名、美濃地区20名 <p>(4)わたしの人権メッセージ展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和2年12月4日(金)～10日(木) 令和2年12月中旬～令和3年1月下旬 ・場所 中央公民館、道の駅、市役所 各公民館(各地域ふれあいセンター) 		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	② 家庭・地域の教育力の充実		
事業名	20 学校・家庭・地域連携協力推進事業	評価	B
事務事業の目標	放課後等における子どもの安全・安心な居場所を、地域全体で支える仕組みを構築します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)放課後子ども教室の開設</p> <p>①大矢田小学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日(全17回開催 R2.10.6初回)、大矢田公民館 ・コーディネーター1名、サポーター5名 ・登録児童30名(延べ484名参加) ・勉強、読書、折り紙、お手玉、積木、ボードゲーム など <p>②中有知小学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日(全16回開催 R2.10.5初回)、中有知公民館 ・コーディネーター1名、サポーター4名 ・登録児童16名(延べ232名参加) ・勉強、工作、デッサン、いろはかるた遊び など <p>③藍見小学校区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日(全16回開催 R2.10.16初回)、藍見公民館 ・コーディネーター1名、サポーター5名 ・登録児童5名(延べ68名参加) ・勉強、工作、デッサン、いろはかるた遊び など <p>※新型コロナウイルス感染症の状況により、開設時期を例年より遅らせて実施しました。</p> <p>(2)土曜の教育活動支援事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内7地区の公民館において計7回開催 ・コーディネーター2名、スタッフ28名(全体) ・延べ参加者52人 ・木を使ったワークショップ(あんどん、宝箱、箱めがね、コマ等) <p>[平成30年度からスタート(従来までの子ども創造館事業の拡充事業)]</p>		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	③ 生涯学習・生涯スポーツの充実		
事業名	21 生涯学習推進事業	評価	B
事務事業の目標	各種文化講座や公民館活動など多様な学びの場及び学習や活動の成果を発表する場を設け、市民の生涯学習を推進します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)生涯学習講座の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19講座、延べ145人受講、123人修了(8割以上の出席者) ・講座種類 ヨガ、ストレッチ体操、教養(歴史と文化財、古文書入門)、ペン習字、ちぎり絵、寄せ植え、フラワーアレンジメント ほか ・成果発表 第2回生涯学習まつり(中央公民館・来場者221人) ※新型コロナウイルス感染拡大により6講座が取止め <p>(2)公民館活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7地区公民館(美濃、洲原、下牧、上牧、大矢田、藍見、中有知) 活動委託料 380千円(一般事業分)(事業縮小により返金672千円) ・教養講座(スマホ教室、歴史を語る会ほか)、軽スポーツ大会、文化祭、社会見学 ほか ・成果発表 第2回生涯学習まつり(中央公民館・来場者221人) <p>(3)美濃市美術展の開催(会期 4日間、会場 中央公民館、来場者 578人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6部門/161点(洋画、日本画、彫塑・工芸、書、写真、和紙画) <p>(4)美濃市文芸祭の開催(会期 2日間、会場 中央公民館、来場者 90人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8部門930人/1630点(俳句※、短歌※、狂俳、川柳※、俚謡)※小中学生あり <p>(5)生涯学習センターの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校統合により使われなくなった校舎や体育館等を、地域の生涯学習センターとして活用(洲原、立花、長瀬、神洞、上牧) 		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	③ 生涯学習・生涯スポーツの充実		
事業名	22 読書活動推進事業	評価	B
事務事業の目標	だれもが利用しやすい美濃市図書館の運営と、発達段階に応じた読書習慣の定着と読書活動を支援します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)市図書館の蔵書等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料購入数 一般書1,496冊、児童書1,073冊(購入費用4,899千円) ・リクエスト 51冊(購入冊数) ※蔵書冊数 一般書54,532冊、児童書(紙芝居含む)25,962冊 合計80,494冊 AV資料(DVD357点、録音図書145点) <p>(2)市図書館で「読み聞かせ(おはなし会)」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催状況 計6回・34人参加(大人12人、子ども22人) ※新型コロナウイルス感染拡大のため例年より開催回数は減少 <p>(3)小学校と連携した「移動図書館」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に、市図書館の様々なジャンルの図書を学校を通して貸し出したり、子どものリクエストに応える等、1人2冊を目安に貸し出す ・実施状況 牧谷小:172人336冊、大矢田小:110人220冊、藍見小:248人494冊 中有知小:97人193冊 合計 延べ627人1,243冊 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「はじめまして絵本」は中止。移動図書館も一部中止) 		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	③ 生涯学習・生涯スポーツの充実		
事業名	23 社会教育施設管理運営事業	評価	B
事務事業の目標	社会教育・スポーツ施設等を市民が安全に安心して利用できるよう適正な維持管理と計画的な維持補修等を実施します。		
実績(事業の内容)	<p>(1) 公民館管理(中央・地区公民館) [利用者数15,984人(中央)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大矢田公民館エアコンの改修 ・藍見公民館事務所屋上雨漏り修繕 ほか <p>(2) 図書館管理 [入館者数26,368人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階屋根雨漏り修繕 ・監視システム購入 ほか <p>(3) 文化会館の管理運営 [利用者数4,973人(ホール)、2,409人(会議室)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人四つ葉のコウゾによる指定管理での会館運営 ・高圧電気設備修繕 ・音響設備更新 ほか <p>(4) 勤労青少年ホーム管理[利用者数3,798人]</p> <p>美濃市勤労青少年ホームが廃止したため、令和3年3月31日で閉館</p> <p>(5) 生涯学習センター管理(洲原・立花・長瀬・神洞・上牧)</p> <p>[利用者数(グラウンドを除く(8,082人))]</p> <p>※美濃和紙用具ミュージアムふくべは除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洲原、上牧生涯学習センターグラウンド給水配管工事 ・上牧グラウンド芝生整備 ほか <p>(6) スポーツ施設の管理運営(運動公園、体育館、グラウンド)</p> <p>[延べ利用者数59,338人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃市市民プール検討委員会を開催し、市民プールを休止 ・NPO法人うだつアップクラブによる委託管理での曾代体育館等の運営 ・大矢田体育館夜間照明灯修繕 ・弓道場屋根改修工事 ・洲原、大矢田体育館網戸及び換気扇改修工事 ほか 		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	③ 生涯学習・生涯スポーツの充実		
事業名	24 生涯スポーツ振興事業	評価	A
事務事業の目標	市民ニーズを把握しながら、だれもが・いつでも・どこでも気軽にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ教室やスポーツ大会などの各種事業を開催します。		
実績(事業の内容)	<p>(1) スポーツ推進委員による生涯スポーツの普及事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区で開催される軽スポーツ講習会等での技術指導、市民スポーツ教室や体力テスト等への協力 等 <p>(2) 市民スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ヨーガ教室(16名) ※例年開催しているゴルフ教室は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止 <p>(3) 市民スポーツ大会等の開催</p> <p>① 体育協会に加盟する種目協会の所管により市民大会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニス、柔道、卓球、グラウンドゴルフ、弓道 ・市駅伝競走大会(中学生・一般ほか・32チーム参加) <p>② 市民健康福祉ゴルフ大会実行委員会による市民大会</p> <p>令和2年10月13日(火) 会場:ぎふ美濃ゴルフ倶楽部 参加者 147人</p> <p>(4) レクリエーション・スポーツの普及活動</p> <p>美濃市レクリエーション協会の活動を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市レクリエーション協会への補助 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度に1年延期した「ねんりんピック岐阜大会」の開催準備 		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	③ 生涯学習・生涯スポーツの充実		
事業名	25 競技スポーツ普及啓発事業	評価	B
事務事業の目標	国際的なスポーツイベントを開催し、美濃市からスポーツの魅力を全国に発信します。また、子どもたちをはじめ市民が一流プロスポーツ選手と触れ合える機会を創出します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)FC岐阜ホームタウンデー事業 ホームゲームでの美濃市PR、スポーツ少年団によるピッチ内練習の見学他 ・FC岐阜vsAC長野パルセイロ R2.9.19(土)19:00キックオフ PRチラシ配布、ゆるキャラによる観客出迎え、大型ビジョンでのPR スポーツ少年団員による対抗試合等 ・来場者3,127人(年間の1試合平均来場者1,519人)</p> <p>※新型コロナ感染拡大防止の観点から「第23回ツアー・オブ・ジャパン美濃ステージ」及び「ツアー・オブ・ジャパン出場選手とのふれあい事業」は中止。</p>		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	③ 生涯学習・生涯スポーツの充実		
事業名	26 スポーツ関係団体育成事業	評価	B
事務事業の目標	体育協会やスポーツ少年団等の活動を支援し、会員確保や活動強化など、スポーツ関係団体の育成を図ります。		
実績(事業の内容)	<p>(1)美濃市体育協会の活動強化 20組織(競技団体17団体、スポーツ少年団本部、中学校体育連盟、スポーツ推進委員会) 事業費3,945千円 (うち市補助金1,178千円、会費255千円、賛助会費1,895千円) ・種目市民大会の開催(延べ6種目・参加者480人) ・市民健康福祉ゴルフ大会、市駅伝競走大会の開催 ・優秀選手・団体表彰(個人19人・団体1団体) ほか ※コロナ感染拡大防止の観点から中濃大会及び県民スポーツ大会は中止</p> <p>(2)美濃市スポーツ少年団本部の活動強化 12団体230人(剣道、柔道、空手道、野球、ソフトボール、サッカー、バレー、テニス、ミニバスケットボール) 事業費1,433千円(うち市補助金363千円、会費262千円) ・認定員養成講習会(16名) ・指導者、育成者表彰(3団4名表彰) ※新型コロナ感染拡大防止の観点から、スポーツ少年団交流大会、中濃地区宿泊リーダー研修会、優秀団・優秀団員表彰は中止</p> <p>(3)美濃市レクリエーション協会の活動強化 ※事業番号24にも掲載 令和元年度に設立された市レクリエーション協会への支援 事業費808千円 ・レクリエーション活動の普及と発展、ねんりんピック岐阜大会への準備及び市民の健康寿命向上を図りました。</p>		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	④ 伝統文化、芸術文化、芸術活動の充実		
事業名	27 文化芸術活動推進事業	評価	A
事務事業の目標	市民が主体となった文化・芸術活動を支援し、多くの市民が文化・芸術に触れられる機会を創出します。		
実績(事業の内容)	<p>(1)市民と地域団体の協働による音楽やパフォーマンスの開催 ・芸術文化協働推進事業 4回 延べ161人参加(リモート開催及びYoutube開催) リモートプリランテ(文化会館)、「音楽の時間」コンサート(文化会館) 笑顔こにちは(文化会館)、助右衛門サのもみじライトアップ(長瀬地内)</p> <p>(2)吉田工房を活用した国内外のアーティストによる作品展示等の開催 ・和紙と芸術村 全6回開催 延入場者2,390人</p> <p>(3)文化会館自主事業の開催 ・文化会館で各種コンサート、講演会、芸能発表会等を開催しました みはる&りんごちゃんものまねSHOW 来場者202人 由紀さおり・安田祥子童謡コンサート 来場者276人 0歳からのオーケストラコンサート 来場者337人</p> <p>(4)Mino Art Info(みの・あーと・いんふお)による文化交流・国際交流 吉田工房等を拠点とし、海外アーティストによる創作活動事業を展開しました</p> <p>※新型コロナ感染拡大防止の観点から「第65回美濃市芸能大会」・「美濃市民音楽劇 不思議の国のアリス」・「うだつアゲアゲお笑いライブ」などが中止。</p>		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	④ 伝統文化、芸術文化、芸術活動の充実		
事業名	28 文化財の保護・保全事業	評価	A
事務事業の目標	指定文化財の修理・修復、調査研究を進めるほか、文化財保存事業等の取組みの周知・啓蒙を図り、文化財の保護・保全を進めます。		
実績(事業の内容)	<p>(1)指定文化財等の修理・修復、調査研究の推進 ア)国・県・市指定文化財等への主な支援等 ・小坂家、長蔵寺舍利塔、大矢田神社防災設備保守点検 ・伝統的建造物群保存地区における修理・修景(修理7件) ・洲原神社中央本殿保存修理 ・大矢田のヒンココ狸々姫保存修理 など イ)埋蔵文化財の発掘調査の実施 ・開発に伴う試掘確認調査(7件)、史跡保存目的調査(2件) ・須原・上河和線改良工事に伴う発掘調査 等</p> <p>(2)文化財展の開催 ・国重要文化財「美濃橋」、県重要文化財建造物「洲原神社本殿」の保存修理内容の紹介、貝津遺跡発掘調査の出土品、寄贈された掛け軸を展示し、文化財展で広く市民に公表した。 会期 R2.10.29～11.1(4日間)・中央公民館、来場者171人</p> <p>※新型コロナ感染拡大防止の観点から全国重要無形文化財保持団体協議会美濃市大会を令和3年度に延期したため、開催準備を実施。</p>		
担当課	人づくり文化課		

教育大綱 基本施策	④ 伝統文化、芸術文化、芸術活動の充実		
事業名	29 文化財の保存活用事業	評価	B
事務事業の目標	<p>市内に点在する文化財の悉皆調査等を実施し、文化財保存活用地域計画の作成や新編美濃市史の編纂を実施し、文化財の保存・活用を進めていきます。 また、美濃和紙ミュージアムふくべの管理・運営を行い、伝統文化等の継承とPRを進めます。</p>		
実績(事業の内容)	<p>(1)文化財保存活用地域計画の作成 平成29年度から4ヵ年計画で作成(H30年度までは歴史文化基本構想として策定を検討。法令改正により文化財保存活用地域計画に変更) ・文化財保存活用地域計画協議会の開催 委員9名</p> <p>(2)新編美濃市史の編纂(市史編纂室) 美濃市史(S54～S55刊行)を改訂し、新たな美濃市史の編纂を行っています。 ・文化財の悉皆調査、資料等の整理を実施 ・市史編纂審議会の開催(令和3年3月8日) ・市史編纂民俗部会の開催(令和3年3月19日)</p> <p>(3)美濃和紙用具ミュージアムふくべの管理・運営 [開館日数:259日 観覧者数:386人] ・展示物の入れ替え、整理等の実施 ・市内外小学校体験学習の受け入れ(市外3校体験学習受け入れ)</p>		
担当課	人づくり文化課		